

一般質問

松村議員

長尾山総合公園内における
駐車場の有料化について

Q 質問

①県立恐竜博物館前の駐車場の有料化は、議会側からも強く要望のあった事項である。この件につき県との話し合いの内容はいかがであったか。

②これまで勝山市が長尾山総合公園の整備並びに維持管理に投入した財源の総額はいくらか。

③県立恐竜博物館前の駐車場のみを有料化して1台500円の駐車料金を取った場合、どの程度の収入が見込めるか。また、その収入を得た場合、市はどのように用いるつもりか。

A 答弁

①議会との懇話会における課題の一つであった再整備等にかかる財源支援については、福井県に対して要請を繰り返し行っている。懇話会において駐車場の一部有料化について研究中であることを伝え、来場者の利便性を考慮した代替案として、恐竜博物館入館料に合わせた環境整備費として代行徴収できないかについて提案しているところである。また、これとは別に県の補助制度の創設についても協議を行っている。福井県では来年3月を目処に観

光新戦略の策定を進めていることや、新年度予算の編成作業の状況から見て協議にはなお時間を要するものと考えている。

②平成9年から長尾山総合公園の維持管理費として、保守管理費、賃借料・設備費、小規模な修繕、渋滞緩和対策費用など合計、約4億2千9百万円で、整備費用との合計は約44億5千3百万円となっている。そのうち国庫補助を差し引いた約37億9千9百万円が勝山市単独で負担した額になる。

③平成25年度の実績を基本に、駐車場の回転率2.5回、乗用車のみを対象として一回あたり500円とすると、料金徴収業務委託料等を差し引き、無料駐車場への利用も考慮すると約6千万円程度と試算される。但し、道路交通状況等の要因により相当変動があるものと考えられる。

公園の駐車場利用により収入を得るのであれば、公園自体の利便性の向上や公園を利用する人々のために公園施設の充実や資質向上、魅力アップを図る目的で、公園自体に還元されるべきもの考える。



恐竜博物館

加藤議員

大蓮寺川のバイパス工事について

Q 質問

大蓮寺川を地下放水路に分流し、九頭竜川へ流すバイパス工事は、平成4年に国より採択されている。それから22年も経過しているが、いつになったらバイパス工事は着工するのか。

A 答弁

事業採択後、各種測量調査及び地質調査、水利模型実験並びに各種設計等に多大な時間が必要となった。また早期の事業効果発現に資するため元禄線及び立石線の2本の放水路の設置に加え、現川改修も併せた計画変更も経て、平成16年度より放水路の支川工事、引き続き、現川改修工事にも着手し、元禄線地下放水路の堤外水路の工事が本年11月に着工され、順次、上流側へ施工する予定と確認している。

介護保険料とその軽減策について

Q 質問

①新年度からの介護保険料はいくらになるのか。
②少ない年金からの高い保険料負担は「これ以上は無理」との声が圧倒的。そこで保険料の軽減策を提案する。「介護給付費準備

その他の質問
・地域防災計画について
・雪対策について

基金」の取り崩し、「財政安定化基金」の取り崩し、「一般会計」からの繰入れ、保険料徴収多段階化など、どう取り組むか。また、国へ国庫負担を増やすように求めべき。

A 答弁

①第6期の介護保険料については、後期高齢者の急増や要介護認定者が増加する見込みを踏まえ、標準月額を算定中であるが、若い世代にも負担していただいていることも考えると、ある程度の値上げはやむを得ない状況である。
②「介護給付費準備基金」は、本年度に全額を取崩し、介護保険特別会計に繰入る予定で、県が保有する「財政安定化基金」は、第6期期間中の交付見込みはない予定である。「一般会計」からの繰入れについては、法令により、市の負担は12.5%と定められており、その負担割合を超えての繰り入れは行わないことが求められている。保険料徴収多段階化については、負担能力に応じた段階の設定を行う予定である。



さくら荘